

平成29年度 北海道地域研究成果発表会開催報告

日時：平成30年2月27日（火）13時30分～16時30分

会場：札幌市男女共同参画センター 3階 ホール（札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内）

題名：「森林・林業・林産業の現在と未来」

基調講演. 最近の木材利用に関する課題と森林総研の取り組み

講演者) 長尾 博文 (森林総合研究所 木材研究部門 構造利用研究領域 チーム長)

発表1. 島嶼ブナ北限奥尻島集団の遺伝的多様性と分化

発表者) 北村 系子 (北海道支所 森林育成研究グループ主任研究員)

発表2. アオダモの持続的利用に向けた育種からの取り組み

発表者) 福田 陽子 (森林総合研究所林木育種センター北海道育種場 育種課育種研究室主任研究員)

発表3. 森林資源と木材市場から見通す北海道林業・木材産業の将来方向

発表者) 嶋瀬 拓也 (北海道支所 北方林管理研究グループ長)

内容：

森林・林業・林産業の現在と未来というテーマで研究成果の発表を行いました。

矢部産学官民連携推進調整監の司会のもと、河原北海道支所長の開会あいさつで始まりました。

基調講演では、建築資材・構造材としての木材利用に関する最近の課題と森林総研の取り組みについて紹介しました。

1番目の発表では、島嶼として北限となる奥尻島のブナの遺伝的特徴を渡島半島や北東北のブナとの関係から紹介しました。

2番目の発表では、近年バット用の素材として根強い需要がありながら、資源の枯渇が心配されているアオダモの育種の取組を紹介しました。

3番目の発表では、国内製材業の産地形成の変遷を踏まえて、おもに北海道林業・木材産業の問題点や課題を紹介しました。

最後に宿利北海道育種場長のあいさつで閉会となりました。

当日は、道、道関係機関、森林管理局、北海道大学、一般企業、一般市民などの皆様にたくさんご来場いただきました。(受付数106名)



開会挨拶



会場内の様子



ポスター展示



基調講演



発表1 (北村)



発表2 (福田)



発表3 (嶋瀬)



閉会挨拶